



松下 玲子

都議会議員
 まつした れいこ

【松下玲子プロフィール】1970年生まれ。実践女子大学卒業後、サッポロビール（株）で8年間の勤務後、早稲田大学大学院修了、（財）松下政経塾での研修を経て、2005年都議初当選。現在厚生委員会理事として、安心して子どもを産み育てる環境の整備、児童虐待防止対策等に取り組む。家族は夫（会社員）と子ども。趣味は落語で、得意噺は「みそ豆」と「から抜け」。

東京都議会第1回定例会報告

民主党景気・雇用対策で全力投球!

新銀行東京、旧経営陣の責任追及先送り



▲ 2月18日 石原東京都知事の施政方針演説

2009年第1回定例会が、3月27日に閉会しました。

百年に一度と言われる経済危機のなかで、都議会民主党は、公共投資の前倒しなどの景気対策や、緊急雇用対策の積み増しなどの雇用対策の充実を求めてきました。また、新銀行東京への隠れた支援策ではないかと言われていた金融支援条例の問題点を追求するとともに、中小企業や震災、医療、子育てなどの課題についても、活発な議論を展開してきました。

私たち都議会民主党は、都民の視点から、引き続き都政改革に取り組んでいく所存です。皆様のより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

Topics 1

外環地上部道路計画（外環ノ2）は事実上凍結へ!

外かく環状道路について、武蔵野市で開催された地域P1では、住民から問題が多々指摘されたにもかかわらず、国や都から明確な答弁は得られず、強引とも思える手法や情報開示、市民参加方式への懸念が残るなか、都は国に対して2009年度の事業着手を要請しています。



民主党は、地上部街路である外環ノ2については地元で多様な意見があることから、その必要性から再検証し、計画を廃止することも含めて地元との合意形成を図っていくべきと主張。また、外環本線が地下水に与える影響について、不測の事態が起こった場合には責任を持って対処することを求め、都はいずれも確約する旨、答弁しました。

松下都議は外環ノ2について、昨年9月の都議会一般質問でもこの問題を取り上げており、次のようにコメントしています。

「今定例会の本会議民主党の代表質問で、都は外環ノ2について地元の十分な合意がないまま事業化を進めることはない」と公式に見解を示しました。これは事実上外環ノ2凍結発言とも取れ、大きく前進したと思

います。私も昨年9月の議会で取り上げ、詳細なデータを示しながら、廃止も含めて検討すべきと質問しています。外環ノ2の沿線住民は、40年以上にわたり都市計画法による制限を受けた生活を強いられていますし、本線が地下となった歴史的な経緯や、外環ノ2と連続性のある東八道路以南の付属街路は廃止されている事実を考えれば、東京都は早急に地元と協議を行い、廃止も含めて必要性を慎重に検討すべきです。」

Topics 2

食の安全を守り、食文化を継承するためにも築地市場は現在地で再整備を!

都は、築地市場の移転予定地である豊洲地区での土壌汚染の詳細調査を実施していましたが、その結果、二地点から不透水層が見つかりませんでした。つまり、水を通しにくいとされる不透水層に穴が空いていたということであり、この穴を通じて、汚染地下水が拡大している可能性があります。



民主党は、豊洲が「安全」だとは到底言えないとした上で、まず「移転ありき」という都の姿勢を改め、多くの都民が望んでいる現在地再整備についても、改めて検討すべきだと主張しています。

Topics 3

エコカー・エコドライブの推進で環境にやさしい東京の実現へ

■今議会には、200台以上の自動車の使用者に対して、5%以上、低公害車や低燃費車の導入を義務づける環境確保条例の改正が提案されました。これは、民主党が、昨年6月に求めていたものです。

また、民主党は、約20%の燃費改善効果があるとも言われているエコドライブについて、条例に盛り込まれたのを契機に、その普及促進を求めました。



さらに、民主党が求めていた環境減税も提案され、電気自動車やプラグインハイブリッド車の導入に際して、自動車税と自動車取得税の免除が実現しました。

Topics 4

子どもの医療費助成の拡大がついに実現！武蔵野市でも中学生まで医療費無料実現へ

■民主党もこれまで要望してきた、中学生までの義務教育児童の医療費無料化が、ようやく今年10月から多摩地域でも実現することになりました。松下都議が所属する厚生委員会で子どもの医療費助成について質問し、明らかになりました。今後の具体的なスケジュールとして、都では4月末までにこの事業の補助金交付要綱について必要な改正を行い、市町村へ説明を行います。市町村では条例改正が必要なため、6月か9月の議会での議決が必要となります。所得制限や一部負担金の有無など、今後中学生までの医療費無料化の具体的な内容は、東京都から武蔵野市へと意思決定が移り、武蔵野市議会での議決後に決定いたします。

Topics 5

安心して子どもを産める東京へ！

■脳内出血をおこした都内の妊婦が、8つの病院に救急搬送の受入を断られた後、死亡したことが、大きく報道されたことから、産科の医師とNICU(新生児集中治療室)不足が改めて浮き彫りになりました。

ところが、都は2009年度に12床増やすとしているだけで、これで足りるのかどうか、整備目標も示していません。

民主党は、NICUを必要とする低体重出生児数が、200床の目標を定めた2009年より1.5倍に増えているため、300床にする目標設定を求めました。

また、本来必要な医療をきちんと提供していくためには、医師、看護師がどれだけ必要なのかといった目標を示した上で、それを充足させるための対策を検討・実行することが必要です。

Topics 6

小児地域医療の確保を求め都立3病院を廃止する都立病院条例に反対！

■都は、都立梅ヶ丘病院、都立八王子小児病院、都立清瀬小児病院を府中に移転統合し、多摩小児総合医療センターを整備する計画を進めています。

今定例会には、この計画を具体化し、都立小児病院条例の廃止を内容とする、都立病院条例の改正案が知事から提出されました。

民主党は、地域住民の生命、安全を守り、責任を持つ立場から、都立病院に代わる、地域の小児医療の確保が確認できるまでは、3つの都立小児病院を条例に明記し、小児医療の充実をするべきと考えています。

そこで、知事提案の条例改正案に対する修正案を提出するも、自公の反対で否決され、無念にも都立3病院を廃止する都立病院条例が賛成多数で可決されてしまいました。

Topics 7

公私格差の是正に向けて私立幼稚園の助成充実を



■幼児教育は、子どもの発達段階に応じた情操教育、小学校就学前に集団行動など社会規範を身につける意味でも大変重要です。

都の私立幼稚園経常費補助のひとりあたり単価は全国46位と低くなっています。

また、公立幼稚園と私立幼稚園とでは、教諭の給与格差が全国の12万円よりも大きい15万円で、勤続年数も公立20.5年に対して、私立8.2年となっています。給与格差の原因でもありますが、私立には、定着しづらいのが現状です。

民主は、公私格差是正の視点が必要と考え、安定的補助金である経常費補助を充実させるべきではないかと都の姿勢を質しました。

これに対して、都は「私立幼稚園の振興を図るため、適切な予算の確保に努める」と答弁しています。

その他、松下都議は、乳幼児の細菌性髄膜炎予防のためのヒブワクチン対策、子育てひろばへの都の支援、児童虐待防止、認証保育所の補助要件の緩和、民間学童保育の実態調査などについて委員会で質問を行い、子育て支援の拡充について要望しました。

都政に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい

お名前 _____ ご住所 _____ お電話番号 _____

FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name



子育てしやすい東京へ

都議会民主党 武蔵野支部 松下 玲子 事務所

〒180-0006 武蔵野市中町1-39-3 日興ビル2階
TEL.0422-50-0696 FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name

